

敦賀 ⇒ 金沢 / 福井 ⇒ 敦賀

4K 撮影作品*



ANRS-72415B / 本編約 185 分 5,500 円 (税込)

ANRS-72414 / 本編約 185 分 4,950 円 (税込)

■ 撮影日 / 2024 年 8 月 7 日 (水)

■ 区間 / 敦賀 (8:37 発) ⇒ 金沢 (10:47 着) 曇 332M

福井 (13:09 発) ⇒ 敦賀 (14:00 着) 曇一時雨 1238M

(鯖江⇒武生間にて一時雨)

■ 本編の概要 ■

2024 年 3 月 16 日、北陸新幹線が敦賀まで延伸開業し、北陸本線の敦賀～金沢は第三セクター化され、敦賀～大聖寺はハピライン福井、大聖寺～金沢は IR いしかわ鉄道に JR 西日本から運営移管されました。敦賀を発車し、新幹線の高架線をくぐり抜けて行き、交直セクションを過ぎると、すぐに北陸トンネルに入る。田園が広がる南条の先では、新幹線が頭上をクロスして行く。在来線特急がなくなり、寂しくなった武生、鯖江と進み、大土呂からは再び新幹線が接近し、福井へ向う。新たに新幹線停車駅となった芦原温泉を経て、県境の熊坂トンネルを抜けると石川県となり大聖寺に着く。大聖寺からは IR いしかわ鉄道を走り、かつて「雷鳥」や「しらさぎ」が停車していた加賀温泉と小松は新幹線停車駅となった。手取川を渡り、JR の車両工場があった松任を過ぎると市街地が広がり、やがて高架になり金沢に到着する。

■ ハピラインふくい商品化許諾済

◆ 展望本編 (敦賀⇒金沢) の主なキャプチャ画像 ◆

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



敦賀で発待ち。新幹線延伸開業により、北陸本線敦賀～金沢は三セク化された。



三セク後も、貨物列車は JR 線と直通運転されている。



敦賀を出て、ほどなく走ると交直セクションに差しかかる。



北陸トンネルに入る。長さ 13780m もあり、抜けるのに約 8 分かかる。



かつて特急列車の有名撮影地であったカーブ区間を通過！
(湯尾～南条)



特急がなくなり、寂しくなった武生。少し離れた所に福井鉄道「たけふ新」駅がある。



時折、普通列車とすれ違う。「特急街道」と謳歌されたのも今や昔…
(北鯖江～大土呂)



越前花堂に到着。右前方には JR 越美北線に入っていくキハ120 が見える。



在来線特急なきあとの福井。ホーム上の賑わいもなくなったように感じられる。



新たに新幹線停車駅となり、様変わりした芦原温泉。



福井と石川との県境となる熊取トンネルに入る。(牛ノ谷～大聖寺)



大聖寺はハピラインと IR いしかわ鉄道との営業上での境界駅となる。

※大聖寺駅は IR いしかわ鉄道の管轄



IR いしかわ鉄道の 521 系は水色を主体としたカラーリングだ。
(動橋～栗津)



美川を過ぎると、右から新幹線が寄って来て、金沢まで並走していく。
(美川～加賀笠間)



松任では、左奥に廃止された JR 松任工場跡が見える。



金沢に到着。絶えず特急が発着していた長いホームが侘し気だ。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。